

Market View

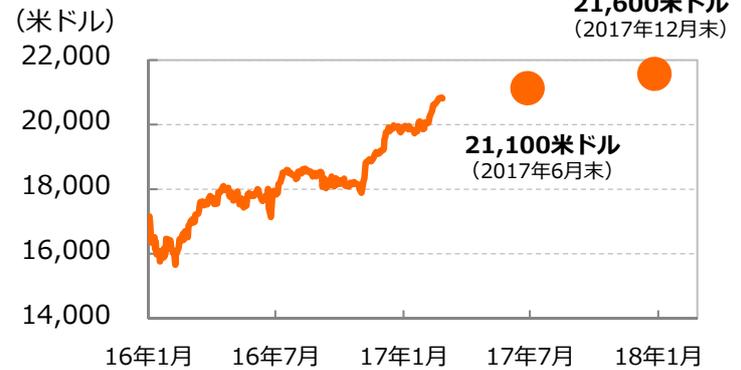
株式市場

日経平均株価：緩やかな上昇継続



- 米国対比での割安感や世界的な景気の持ち直し、米利上げ観測の高まりによる米ドル高観測から緩やかな上昇継続を見込む。

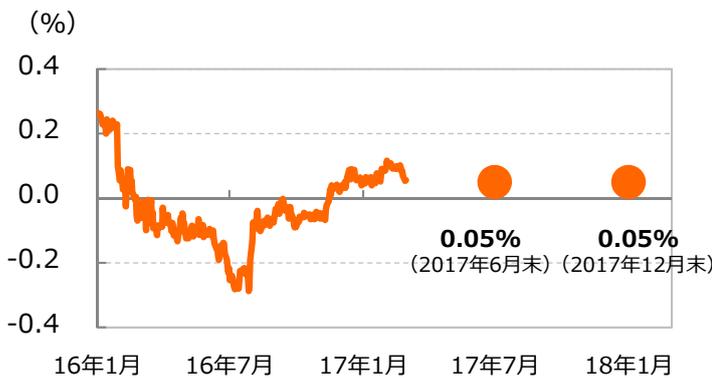
NYダウ：上昇一服後に横ばい圏



- 投資家の強気姿勢の高まりから、上昇一服後に横ばい圏推移を見込む。
- ただし、投資・消費の持ち直しや新政権への政策期待から上値を試す可能性。

債券市場

日本10年国債：金利上昇圧力は後退



- 日銀の10年金利上昇抑制スタンス明確化により、金利上昇圧力は後退。
- しかし、世界的な景気回復・インフレ率上昇等から超長期債中心に金利上昇圧力がかかり易い展開を予想。

米国10年国債：緩やかな上昇基調



- 堅調な経済指標の発表が続く中、FRBの利上げ継続が見込まれる。
- トランプ新政権への不透明感が依然残るものの、米10年債利回りは緩やかに上昇すると予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年2月28日まで。2017年6月末、12月末は当社予想。 出所：Bloomberg (1/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasumiぎん

検索

サイトはこちら



Market View

為替市場

米ドル/円：円安米ドル高が進行



- 米国景気は堅調でFRBによる利上げは続くと思われる。
- 日銀の金融政策により日本の金利上昇圧力は限定的なため、金利差拡大から円安米ドル高が進むと予想。

豪ドル/円：円安が下支え要因に



- 2016年に大幅上昇した鉄鉱石価格の調整が下押し圧力となる可能性。
- 一方、人民元切り下げリスクの後退、米国の利上げ観測の高まりに伴う円安の進行が豪ドル円相場を下支えする見通し。

メキシコペソ/円：緩やかな上昇基調



- 今年半ばまではNAFTA再交渉を控えるなか、頭の重い展開を見込む。
- 今年後半からはNAFTA再交渉がソフトランディングするとの見方が強まるにつれ、緩やかな上昇基調を予想。

ブラジルレアル/円：緩やかな上昇基調



- テメル政権の財政再建策の順調な進展を見込む。
- ブラジル国内の物価上昇圧力の後退が続くなか、ブラジル中銀の利下げが継続。景気回復期待から緩やかな上昇基調を予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年2月28日まで。2017年6月末、12月末は当社予想。 出所：Bloomberg (2/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasumiぎん

検索

サイトはこちら

